



令和5年度 三重県障がい者芸術文化祭

地域で表現活動を行う障がい者の活躍を広げるための文化祭です。今年度は鳥羽市開催。

昨年は600点以上もの応募がありました。

今年度もたくさんの方からのご応募、ご参加をお待ちしております。

◆開催日時

令和5年12月1日(金) 作品展・ステージ発表
10時(オープニング)～16時

12月2日(土)

作品展: 10時～13時

(表彰式10時～)

ステージ発表: 11時～14時

◆会場

鳥羽市民体育館

〒517-0022 三重県鳥羽市大明東町4番8号

・作品展: メインアリーナ

・ステージ発表: サブアリーナ

◆募集内容

●作品展

応募対象: 三重県内に住所を有する障がいのある方

・作品は1人1点(未発表の作品に限る)

・部門: 絵画、写真、書道、陶芸、手芸、工芸(版画・彫刻含む)、貼り絵・CG、俳句

・部門別に優秀賞を選定し表彰します。

・作品規格は募集パンフレット参照

・特別支援学校コーナー(賞対象外)

・共同作品コーナー(賞対象外)

●ステージ発表(賞対象外)

応募対象: 障がいのある方が出演者の半数以上を占める三重県内の団体

・歌唱、楽器演奏、演劇、ダンス等

・出演時間は、準備を含め1団体30分以内

◆応募方法

募集パンフレットの応募用紙により、事務局へ郵送、FAXまたはメールにて応募期日内に申し込む。

※応募用紙はホームページからもダウンロード可能



◆応募期間(申込書を受け付ける期間)

令和5年9月1日(金)～9月30日(土)(必着)

◆作品の審査及び表彰

・審査会: 令和5年11月29日(水)

・表彰式: 令和5年12月2日(土)

三重県知事賞、三重県議会議長賞、鳥羽市長賞、実行委員長賞、奨励賞

被表彰者には賞品を贈呈する。

◆作品の搬入・搬出

搬入: 令和5年11月28日(火) 9時30分～16時

搬出: 令和5年12月2日(土) 14時～16時

当日、搬入・搬出できない方は事務局へ問い合わせ下さい。

◆事務局(送付先・問い合わせ先)

三重県障がい者芸術文化活動支援センター内

三重県障がい者芸術文化祭実行委員会

(公益社団法人 三重県障害者団体連合会)

〒514-0113 津市一身田大古曾670-2

TEL 059-232-6803 FAX 059-231-7182

E-mail: info@mie-asc.jp

文化祭のサブタイトルも募集中!

応募資格: 三重県内に住所のある方(障害の有無は問いません)

募集内容: 障がい者芸術文化祭を表し、親しみやすい内容で20字以内。自作で未発表のものに限ります。

作品募集とは別に1人3点まで応募できます。

応募方法: 募集パンフレットの応募用紙、又ははがき等にサブタイトル、住所、氏名、年齢、電話番号、FAX番号等を記入のうえ応募してください。

※選考されたサブタイトルは印刷物や広報媒体等において広く活用する予定です。採用された方には記念品を贈呈します。

令和3年度 つくろう つなごう 君の笑顔と文化祭

令和4年度 ひとりひとりが主人公 想いを届ける芸術祭

第38回国民文化祭・第23回全国障害者芸術・文化祭
いしかわ百万石文化祭2023

令和5年10月14日(土)～11月26日(日)

文化絢爛 ぶんかけんらん

各種文化について全国規模で発表、共演し、障害のある人もない人も共に参加して交流の輪を広げていく文化祭です。石川県での国民文化祭の開催は、平成4年以来2回目となり、全国障害者芸術・文化祭は、初開催となります。

★☆☆☆☆ 三重県障害者社会参加推進協議会団体 ★☆☆☆☆

三重県障害者団体連合会

当連合会のご支援と障がい者福祉にご尽力を賜りありがとうございます。

新型コロナウイルスも感染法上の分類が5類に移行され、順調に推移することを願うとともに、安全・安心に留意して様々な活動ができるのではないかと期待しています。

障がい者施策においては、障害者差別解消法改正法が、令和6年4月1日より施行されることとなり、事業者による合理的配慮の提供が義務化されます。令和5年3月には基本方針が改定され、改正法の円滑な施行に向けた取組が進められています。

三重県においても、昨年10月に策定された総合計画「みえ元気プラン」に基づき、障がいの有無に関わらず誰もが尊重し合いながら共生する社会の実現をめざして、施策を推進しています。

三重県障害者社会参加推進センターでは、こういった国や県の施策動向を把握しながら、県内に居住している障がい者及びその家族の福祉増進を図り、障がい者が地域社会に参画して、安心して暮らせる共生社会の実現に向けて各事業を実施しています。

事業については11ページの「開催事業予定」を参照ください。三重県障害者団体連合会は、ホームページでも行事予定を掲載しています。多数の参加ご協力をお願いします。

現在、我が国は高齢化、人口減少、過疎化に向かっていっているとされていますが、そんな時代だからこそ、障がい当事者団体を中心に、互いにつながり、支え合う活動が必要であると考えます。今後もご支援をよろしくお願い申し上げます。

会長 世古 佳清

事務局 ☎ 059-232-6803 FAX 059-231-7182

三重県知的障害者育成会

この時代におぞましい出来事が!!

育成会は、アカス紙器、サングループ、白河育成園、カリタスの家 etc と度重なる知的障害の方々への虐待事件に危機を覚え、権利擁護委員会を立ち上げて闘ってきました。

以前は、「知的障害だけではなく障害があるというだけで障害の子どもが生まれる。」障害の連鎖が起きるという考えで、本人の意思に関わらず親や支援者

の考えだけで強制的に不妊治療を施されてきた歴史がありました。近年では、そのことを非人道的な行為であり、国家権力で本人の意思確認や同意もなく手術を受けさせられた人の尊厳回復にと国家賠償請求の裁判を起こした方々を支援してきました。

それなのに、北海道のグループホーム利用者間の婚姻に際して、事業者が障害のある者同志が結婚に当たっては不妊治療を受けることという条件を提示したという報道に接しました。

さらに、信じがたいことにその事業者は記者会見で顔をさらして何故いけないのだと発言する姿が全国に流れました。

それこそ、障害者蔑視でしかないというのに・・・おくめんもなく顔を出しての人権無視の発言がまかり通ると思っているのか?と腹立たしいばかりでした。

福祉にどのような形態の法人でもいいという考えの下、障害福祉は国庫補助で成り立っている収入を補償される業態だと考える輩が手を出してきていることに違和感を覚える事態が頻発しています。福祉は「利他の心」が基本だという分野だというのに、福祉が福祉の心を置いてきぼりにして参入できる分野だと思われていると思えることが頻発しています。この時代錯誤の考えで人権無視をしているという自覚もない人々に、『障害者は、障害があってもその人格が尊重され、意思を持って生きている存在』なのだ改めて声を大にして叫びたい!!!

理事長 高鶴かほる

事務局 ☎ 059-225-3930 FAX 059-225-3935

E-mail: oyanokai@eos.ocn.ne.jp

HP <http://www.mie-ikuseikai.sakura.ne.jp>

三重県精神保健福祉会

令和4年度は新型コロナウイルス禍の影響があるなか各種研修を開催し、また精神保健福祉に関する全国ないし東海地区での研修に参加し精神障がい者の偏見をなくすための啓発の活動を行ってきました。

令和5年度は新型コロナ前に戻して活動を実施する予定です。

さんかれんは一昨年から延期している甲州・東海ブロック家族会精神保健福祉促進研修会を10月に四日市市で開催を予定しております。

令和5年度の主な活動は、次の通りです。

①精神障がい者が、地域で安全で安心し社会参加

できる環境の促進を図るうえで精神障がい者に対する交通運賃を身体障がい者、知的障がい者と同様に割引制度の適用対象にすることを東海地区家族会連合会と協力し近畿日本鉄道への要望の結果、令和5年4月より他の障害同等の運賃割引適用が実施されることになりました。また三重県内の養老鉄道(株)、伊賀鉄道(株)、四日市あすなろう鉄道(株)、三岐鉄道(株)の私鉄各社は精神障害者福祉手帳1級及び2級所持者は割引率5割の適用がされています。

まだ適用されないJR東海(株)及び中日本高速道路(株)等への要望を継続していきます。

②医療費助成については、三重県の近隣県は、身体障がい・知的障がいと同等の助成を受けておりますが、三重県の精神障がい者への医療費助成は1級の通院のみで他県に比して遅れており、2級の医療費助成については各市町がそれぞれの立場で実施していただいておりますが三重県29市町中9市町においての助成に留まっています。県への要望に合わせ、各市町の家族会及び家族と協力し県内全域での助成を求める活動を推進していきます。

③甲州・東海ブロック家族会精神保健福祉研修会を実施し、多くの地域の皆さんへ精神障がいに対する正しい知識の普及を図るとともに、精神障がいを持つ当事者・家族の方と交流し、当事者の方々の持っている魅力やパワーを肌で感じていただく機会を創出します。

開催日時：令和5年10月26日（木）27日（金）

開催場所：四日市市文化会館

テーマ：みんなが当たり前暮らし地域をめざして
～こころのバリアフリーを広げよう～

④家族による家族相談、家族同士のサロンによって家族が元気に当事者を見守り支えることができ、当事者支援の一助としております。また、住居サポート事業の活動を行い、住宅保証人受託増により精神障がい者の生活の質向上に貢献しています。

⑤啓発広報資料「あゆみ」の配布によって、地道な家族会活動の周知を図るとともに、広く県民の多くの目に触れ、「精神障がい」について「知っていただく」ことを取り組みます。

⑥精神障害保健福祉について三重県への要望を提出し、環境の改善に取り組みます。

⑦みんなねっとが提案する「精神保健医療福祉への提言」の実現に向けて取り組みます。

等を実施することで精神障がい者に対する誤解・偏見および三障害間の格差の是正に積極的に取り組ん

でいます。

NPO法人 三重県精神保健福祉会（さんかれん）

事務局 ☎・FAX 059-271-5808

E-mail:sankaren@mint.or.jp

三重県視覚障害者協会

本協会は、県内の視覚障がい者の会員で構成されており、協会本部事業のほか、県の施設である三重県視覚障害者支援センター（以下「支援センター」と表記）の指定管理者として、管理運営を行っています。

令和4年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、運営及び事業を実施してまいりました。一時期の感染者数の急増により、開催時期を変更した事業もありましたが、楽しみにしていただいていた地域レクリエーション活動である、協会事業のグラウンドゴルフやボウリングの教室のほか、支援センター事業のハイキングなど、多くの事業をほぼ計画どおり進めることができました。

支援センター事業には12項目の数値目標を設定していますが、令和4年度は2項目（図書の新規製作編集タイトル数、奉仕員スキルアップ講習会出席者数）以外の10項目について達成することができました。利用者の方やボランティアの皆様のご協力等に厚く御礼申し上げます。今後も支援センター利用者の皆様の満足度を高めるため、管理運営に注力してまいります。

各項目の目標内容、目標値、実績値は以下のとおりです。

① 図書貸出タイトル数

目標82,000タイトル、実績102,696タイトル

② 生活訓練参加者数 目標563人、実績575人

③ 図書の新規製作編集タイトル数

目標300タイトル、実績247タイトル

④ 図書だより発行回数 目標6回、実績12回

⑤ 点訳奉仕員養成講習（初級）開催日数

目標5日（回）、実績6日（回）

⑥ 点訳奉仕員養成講習（初級）修了者数

目標20人、実績24人

⑦ 点訳奉仕員養成講習（中級）開催日数

目標20日（回）、実績20日（回）

⑧ 音訳奉仕員養成講座開催日数

目標40日（回）、実績40日（回）

⑨ 音訳奉仕員養成講座修了者数

目標20人、実績39人

- ⑩ 奉仕員スキルアップ講習会出席者数
目標330人、実績222人
- ⑪ 県政だより点訳版・録音版発行回数
目標12回、実績12回
- ⑫ みえ県議会だより点訳版・録音版発行回数
目標7回、実績7回

また、引き続き、視覚障がい者の自立と社会参加の促進を図っていくため、視覚障がい者の情報保障やデジタル化への対応、道路や鉄道のバリアフリー化による外出保障、就労などの諸問題について、社会へアピールしていく必要があります。当協会では、今年度も10月15日の「国際白杖の日」には、伊勢市内をはじめ、県内数カ所において街頭啓発活動を予定しています。県内の視覚障がい者を取り巻く新たな社会環境を十分に認識したうえで、今後も事業を執行してまいりますので、一層のご理解、ご支援等よろしくお願いいたします。

社会福祉法人 三重県視覚障害者協会
三重県視覚障害者支援センター
〒514-0003 津市桜橋二丁目130番地
☎ 059-228-3463 FAX 059-228-8425
HP <http://www.mieten.jp>

三重県聴覚障害者協会

「三重県聴覚障害者協会」は創立76年目を迎えました。1947年の創立以来、数々の苦難を乗り越え、聴覚障害者当事者団体として76年の長きに渡り運動と事業を担いながら活動を続けることができましたのは、ひとえに皆様のご協力、ご支援の賜物であります。

当協会の2022年度会員数は2021年度の279名より3名減の276名であり、3年連続の減少で長期的には減少傾向にあり、残念な結果です。しかし、賛助会員（手話サークル、協会関係者）は昨年度の107名より7名増加の114名となり、確かな回復がみられる状況で嬉しく思っています。

会員を年代ごとに分けてみますと高齢化の傾向がうかがえます。20～39歳…38名（13.8%）、40～59歳…89名（32.2%）、60歳以上…149名（54.0%）。会員の約54%を60歳以上の高齢者が占めると推計され、当協会においても2人に1人が60歳以上という「本格的な高齢化社会」になっています。若手のろう者への引き継ぎの必要性と、次代の主役でもある青年やスポーツ会員の入会拡大を期待したい。また、魅力のある企画や、会員相互の交流の促進、参加者

同士の情報共有で会員減少傾向に歯止めをかけたいと考えています。

昨年度はコロナ拡大防止に注意をしながらほとんどの行事を対面方式で開催しました。特に2022年9月30日（金）～10月2日（日）の3日間、三重県伊勢市のシンフォニアテクノロジー響ホール伊勢にて「第52回全国ろうあ女性集会 in MIE」が開催され、3年ぶりの全国女性部イベントに、各都道府県から約440名の参加者が集いました。天候がとても心配でしたが、まぶしいくらいの快晴で、当協会の女性たちのパワーで無事終了することができました。

本年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響でコミュニケーション不足・情報不足によって十分に情報共有がされず、信頼関係が築きにくく、生活の質が低下する聴覚障害児やろう高齢者、若者たちへの支援活動を続けます。

手話カレンダーや手話トイレトペーパー、オリジナル商品販売（マグカップ）は皆さまのご協力、ご支援のおかげで社会貢献も果たせており、私たちが胸を張れる事業の一つです。本年度も継続します。

定期的に発行している当協会の機関紙「みえデフNEWS」ではお知らせニュース、行事等を掲載し内容を幅広く周知します。また、ウェブログのみえデフBlogや、あまり更新していないホームページでも新しい情報を掲載したり、動画も楽しく発信し、参加意欲を高めるとともに新たな仲間を増やしていくことを支援していきたいと考えています。

私たちは、地域の聴覚障害者が「安心して暮らせる社会」を目指し、聴こえない人と関係者が力を出し合い、課題を解決するために県民とともに取り組んでいきますので引き続き、これからもご支援とご協力をお願いいたします。

県理事体制は2年目になりますが、新年度は会員の高齢化と若年会員拡大に対して10年先を見据えつつ、更なる聴覚障害者の福祉向上に取り組んでいきたいと思えます。また、組織の理念を重んじ結成76年の歴史と伝統を受け継ぐとともに、経験を確実に後世に引き継ぐ事が必要ではないかと考えています。

依然、様々な壁がありますが、これからも関係団体の皆さまとともに決して諦めず立ち向かって活動していく所存です。今後とも、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

事務局 ☎ 059-229-8540 FAX 059-223-4330
E-mail: deaf.mie@viola.ocn.ne.jp
HP <http://deafmie.cocolog-nifty.com/blog/>

三重県知的障害者福祉協会

平素は、障害者社会参加促進事業を通じ、当協会の事業・活動にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスも、5月8日をもって第5類に引き下げられ、当協会の事業もようやく先が見えてまいりました。しかし、まだまだ油断は禁物であり、各施設・事業所において、利用者の皆さんの命と健康を守り、安心して日常生活が送れるよう、引き続き、コロナ感染には注意を払っていきたいと考えています。

当協会の活動におきましても、昨年度後半からは、オンラインから徐々に対面での活動に切り替えてきました。この3年間の経験から、やはり、オンラインではなかなか伝わりにくい事が多くあり、やっと、会員の方々や、利用者の皆さんと直接会って事業を進めて行ける日が来たことを嬉しく思っています。

また、来年度（令和6年度）は、3年毎の制度・報酬見直しの年です。当協会としても、すでに、日本知的障害者福祉協会に要望書等を提出していますが、各障害者福祉団体の皆様と協力し、今回の改定が少しでもよい結果となることを願っています。

「令和5年度、主な事業として」

1 研修事業

- ① 新任職員研修
- ② 虐待防止・身体拘束適正化研修
- ③ 職員交流研修
- ④ 制度改正にかかる事務研修

2 利用者交流等事業

- ① ふれあいモルック大会
- ② 音楽を楽しむ会（Youtube配信予定）
- ③ 三重県主催、障がい者スポーツ事業に協力

3 研究事業

- ① 「事業所の個別支援計画の実態調査」

4 虐待事案に対する常設委員会の開催

5 各部会活動の開催

会長 山野 文照（新任）

事務局 ☎ 059-268-1115（まもり苑・本弘）

三重喉友会

当会は創立68年目になり、現在会員数は60名です。喉頭や食道の摘出手術を受け、発声機能を失った方々のための患者会です。発声教室で訓練をして日常会話ができるようになり、社会や職場に早く復

帰されることが目的です。

この他、健康相談や親睦の場としても活発な活動をしています。

このような患者会は全国にあって、NPO法人日本喉摘者団体連合会に加盟しており、各団体は互いに情報を交換しながら協力しています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により各病院での発声教室は休講となっています。新規の教室として県身体障害者総合福祉センターで土曜日（月2回随時）で開講しています。早く感染拡大が収束して、各病院とも利用可能になり、例年のように活発な活動が出来るように全会員が願っています。

◆発声教室

・中勢地区

三重県身体障害者総合福祉センター 大研修室
毎月2回土曜日（随時）14時～15時30分
※会員の方は塚本迄連絡下さい。

（☎・FAX 059-261-5257）

県内の各病院は休講中です。状況が変わり使用許可が出ましたら再開します。

・北勢地区

市立四日市病院
病院大改修工事の為、約3年間使用できません。
代替の施設を検討中です。

・中勢地区

三重大学附属病院南館12階 三医会ホール
第三木曜日 10時～12時

・南勢地区

伊勢赤十字病院1階 山田ホール
第二木曜日 10時～12時

・東紀州地区（偶数月）

尾鷲総合病院1階 母親教室
第四木曜日 10時30分～12時

◆研修会

- ・発声指導員養成のための研修会が、毎年10月中旬に三日間行われ一般会員の方も参加できます。
- ・県外から発声指導のために講師を招き、集中的な訓練により成果が上がる研修会も行っています。

◆総会（発声教室、研修会）今年中止しました。毎年春に三重大学附属病院で開催されます。

発声訓練の成果として「発声コンクール」を行います。

◆一泊研修旅行 未定

先輩からの手術後の体験談や、会員の悩み等を話し合ったりして親睦を深めています。

会員による発声コンクール（カラオケ大会）を行

います。

◆出前授業 未定

三重県教育委員会からの要請で県内の小・中・高等学校の生徒対象に「がん教育」として三重県内の病院の教授、医師と共にごがん体験者としての講演をしています。

◆三重県がん相談支援

三重県がん相談支援事業の一環として、三重喉友会もがん患者団体としてサポーター協力しています。

事務局 ☎・FAX 059-261-5257 (塚本明雄)

Eメール aki0350@zb.ztv.ne.jp

日本オストミー協会三重県支部

日頃はオストメイトの福祉とQOL(生活の質)の向上にご支援・ご協力を戴き御礼申し上げます。

令和2年度から令和4年度まで、新型コロナウイルスの感染拡大のため、計画したほとんどの行事を中止しました。

今年度はコロナ禍も終息しつつあるので次の行事を予定しています。その都度開催案内等でお知らせします。

終息に向かっているとはいえ、感染症の予防には今まで同様に気を付けて「三密」の回避を実践していただくとともに、暑さが厳しくなるこれからはストーマ周囲の炎症等、ストーマケアに充分にご注意願います。また、適度な運動や散策等で体力を維持して「健康寿命を延ばす!!」を実践願います。

【令和5年度の支部行事】

- ・6月10日(土)「支部総会・春の研修会」
会場：アスト津

昨年に引き続き開催できました。

講師…三重大学医学部附属病院

WOCナース 濱田あゆみ様

「それぞれのコロナ、医療現場ではこんなことしてました。」
「ストーマ用品の保管方法」

- ・10月「秋の研修会」 会場：アスト津(予定)
13時30分～
- ・11月「一泊研修会」 会場：鳥羽市内ホテル(予定)
…大浴場での入浴体験、参加者同士でストーマケアの実践の話し合い等を行います。
- ・令和6年3月「新入会員研修会」 会場：アスト津
…新入会員の有無等で開催の可否決定。

オストメイトは、ご家族のご協力があって始めて快適なストーマ生活が過ごせます。研修会等の行事にご家族でのご参加を歓迎いたします。

※注 (1)オストメイト…ストーマを造設した人のことを言います。

(2)ストーマ…腹壁に造設した排泄口のこと。消化管ストーマ(人工肛門)と尿路ストーマ(人工膀胱)があります。

(3)WOCナース…皮膚・排泄ケア認定看護師
連絡先：支部長 ☎ 059-346-2589 (溝川紳一)

事務局 ☎ 059-226-5201 (在間敏明)

三重県肢体不自由児者父母の会連合会

◎令和4年度主な事業実績

(1)東海北陸ブロック愛知大会

- ・期 日：9月10日(土)
- ・場 所：豊橋市
- ・テーマ：住み慣れた地域で自分らしい生活ができる共生社会の実現!
- ・リモート参加：5名

(2)障害者の明るいくらし：バス旅行

- ・期 日：11月20日(日)
- ・場 所：南知多ビーチランド、他
- ・リフト付きバス1台、19名参加

◎令和5年度主な事業計画

(1)東海北陸ブロック静岡大会

- ・期 日：6月10日(土)～11日(日)
- ・場 所：浜松市
- ・テーマ：地域における親の会の役割
～支援が必要な子供達の声が届ける～

(2)障害者の明るいくらし：バス旅行

- ・期 日：11月5日(日)
- ・場 所：行先未定

(3)県肢連福祉研修大会及び療育キャンプ

- ・期 日：12月
- ・場 所：鳥羽市内

☆コロナが第5類に移行されました。行動を制限されることはなくなりましたが、これにより今後注意を必要とする事も出てきました。今年度は、通常通り事業計画が実施できることを願っています。

◇当会の活動等、詳しく知りたい方は下記へ

県肢連会長 鈴木錠平 ☎・FAX 059-333-0005



三重県重症心身障害児(者)を守る会

季節は早くも6月を迎えました。ようやくコロナが下火になり2類から5類に分類されインフルエンザと同じとなりました。いまだ気が抜けない状況ではありますが、ようやく明るい兆しになって来ました。

さて、私達三重県重症心身障害児者を守る会も今年より活動が徐々に各会合が再開され、少しずつですが例年の活動に戻って来ました。

計画されている今年度の活動方針は例年通りとはいきませんが、遅まきながら総会も開く予定で活動しています。ただ三重県支部はこういった状況ですが、本部活動は例年にも増して、厚労省、文科省、こども家庭庁に対しては、提言を始め、各審議委員会には、医療的ケア児、重症心身障がい児者のさまざまな問題点を提言し要望書を提出いたしました。地道に確実に頑張っています。

三重県支部の主な方針は、第47回医療講演会の実施、熊野一泊研修会、在宅巡回訪問の計画、又母親部会に於いては、障がい者親の会との交流を行い情報交換をする予定です。又今年より三重大医学部の岩本先生のご指導により、在宅障がい者との交流も予定し、既に二回程交流もしてまいりましたが、各基礎自治体には、私達が把握していない重症心身障がい者がいることがわかりました。三重県全体では約700人との事でした。

さて、私達三重県重症心身障害児者を守る会は、守る会の三原則である

- 1、決して争ってはいけない、争いの中に弱い者の生きる場はない。
- 2、親個人がいかなる主義主張があっても重症児運動に参加する者は党派を超える事。
- 3、最も弱いものをひとりももれなく守る。

以上の原則を私達三重県重症心身障害児者を守る会の活動の根底に置きながら行動してまいりました。

三重県の基礎自治体、県庁、各団体に直接働きかけを行いながら、そして厚労省、文科省に対し本部を通して皆様のご意見を伝え地道ながら約半世紀行動した結果が今出てきたと確信しております。

又社会の意識が変わってきた事も確信しています。これからも地道に子供達が社会の一員として存続する為にも、皆さまにご理解いただけますよう活動してまいります。

会長 山本静雄

☎・FAX 0596-23-0216

三重県脊髄損傷者協会

長年要望活動をしてきた有料道路における障害者割引が、登録された自家用車から知人の車やレンタカー、介護が必要な重度の障がい者の方がタクシーを利用する場合などにも3月27日から拡大されました。要望活動はあきらめず継続的に行い多くの障がい者が参加して協力をした結果であると考えます。

コロナ禍で対面が制限された影響で、パソコン等でおこなわれるコミュニケーションツールが進化しました。私達の全国組織は総会や会議、講演会などを実施した結果、たくさんの繋がりや情報発信、学習ができ、組織の強化につながったと思います。

スマートフォンで音声テキストに変換するソフトが簡単に入手できるなどその他の分野でも障がい者の生活を助けるIT機器が大きく進化しています。IT機器を使用してどれくらいの生活が可能かと検証されている障がい者の方がみえます。その方の講演をYouTubeで配信の予定ですのでご興味のある方はご連絡ください。

三重県脊髄損傷者協会 ☎ 059-386-9733

三重難病連

三重難病連は現在21(2団体活動休止)の当事者団体で構成されており、三重県難病相談支援センター事業を県から受託して運営しています。

2020年より始まった新型コロナウイルス感染症により多くの行事が中止となりました。今年度は様々な行事が再開されると思いますが、当センターでは引き続き、基本的な感染防止対策の取組をしながら活動をしていきたいと思っております。

○疾患別相談(毎週火・木曜10時~16時)

三重難病連に加盟している団体の相談員が療養相談や生活相談をお受けします。同じ病気の方々の悩みや、様々な問題について同じ立場で一緒に考え、問題解決のお手伝いをします。疾患によって担当日が決まっておりますので、詳しくは下記の三重県難病相談支援センターへお電話でお問合せ、またはホームページでご確認下さい。

○地域難病相談会(時間は全て13時~15時)

地域の医師会やハローワーク、患者会、保健所と協力して、生活相談や医療相談、就労相談等をお受けします。参加無料、要・事前申込

7月2日(日) 四日市地域難病相談会 四日市文化会館

9月3日(日) 松阪地域難病相談会 三重県松阪庁舎

10月1日(日) 津地域難病相談会 三重県津庁舎
11月12日(日) 尾鷲地域難病相談会 三重県尾鷲庁舎

○就労相談

三重県難病相談支援センターでは、就労支援の担当がお仕事に関するご相談を受けています。また、毎月第4水曜10時～16時には、ハローワークの難病患者就職サポーターによる相談・支援も実施しています。(☎ 059-223-5045)

○小児慢性特定疾病に関するご相談

お子様のご病気に関しての困りごと・お悩みについて、担当の相談員がご相談をお受けします。

(☎ 059-223-5046)

【三重県難病相談支援センター】☎ 059-223-5035
<http://www.mie-nanbyo.server-shared.com/>

三重県身体障害者総合福祉センター

指定管理者として、「障害者支援施設」と「身体障害者福祉センターA型」の運営をしています。

障害者支援施設では、回復期病院を退院し、地域生活に不自由を感じている方や復職や再就職を希望されている方、地域で安心して一人暮らしをしたい方などが、入・通所をしながら、就労や単身生活など希望している生活を目指し、それぞれのニーズに合わせて訓練をされています。訓練の内容は、理学療法や作業療法などの医学的リハビリテーションのほか、調理訓練や外出訓練、自動車訓練などの社会リハビリテーション、情報訓練、作業訓練などの職業リハビリテーションを行っています。

身体障害者福祉センターA型は、各種相談の実施、介護保険・医療保険によるリハビリテーションの実施、福祉用具や自助具の普及促進、障がい者スポーツの推進などを行っています。

障がい者スポーツの推進につきましては、今年、鹿児島県で開催される、特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」に向けた選手の発掘・育成や障がい者スポーツを支える人材の養成を通じて、障がい者の自立と社会参加を促進するとともに、障がい者スポーツの裾野の拡大を図っていきます。

また、三重県障がい者スポーツ支援センターでは、障がい者スポーツに関する情報収集や情報提供、障がい者スポーツに関する相談業務、県民・企業等と選手・競技団体との新たな関係性の構築に取り組んでいます。

現在、団体競技の車いすバスケットボール、グラウンドソフトボール、聴覚障がい者バレーボール男女、

知的障がい者ソフトボール、知的障がい者フットソフトボール、知的障がい者バスケットボール男女、知的障がい者バレーボール男女、精神障がい者バレーボールの選手を募集しています。未経験の方も大歓迎ですので、スポーツを始めたい方、仲間作りをしたい方は、ぜひお問い合わせください。

事務局：三重県身体障害者総合福祉センター
☎ 059-231-0155 (代表) FAX 059-231-0356
HP：<https://www.mie-reha.jp/>

三重県立特別支援学校長会

平素は本県の特別支援学校の教育活動にご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

コロナ禍による未曾有の事態で、子どもたちの社会活動や交流活動、学校と地域との連携、及び、学校行事の停滞や制限がなされる状況が続きました。5類感染症への移行により、これらの取組が再スタートとなり、特別支援学校としても今まで以上に力を注いでいくこととなります。これまでどおりではなく、新たな展開がなされていくものと期待しています。

三重県立特別支援学校長会は、「三重県教育ビジョン」及び「三重県特別支援教育推進基本計画」を基本に活力ある学校づくり、子どもたちの自立と社会参画に向けた教育を推進し、特別支援教育の一層の充実に向けて努めております。

三重県立特別支援学校長会として、「共生社会の実現に向けた特別支援教育の推進／保幼小中高と連携した特別支援学校のセンター的役割の充実、就労・福祉・医療等の関係機関との連携推進、インクルーシブ教育システム構築等」「特別支援学校の教育の充実／卒業後の自立と社会参画を見据えた一貫した教育の充実、教員の専門性の向上、命を大切に教育・人権教育・いじめ防止の取組の充実等」「特別支援学校の整備」に視点を当て、特別支援教育の更なる充実を図っていきます。

また、各特別支援学校において、「施設・設備の老朽化」「児童生徒数増」「防災上の安全確保」等の様々な課題が継続しています。これらの課題に関しましては、子どもたちや保護者の思いに応えられるよう、三重県教育委員会と情報共有・意見交換を行い、課題解決に向けて取り組んでいきたいと考えています。

これからも各関係団体・機関との連携協力のもと、一人ひとりの教育的ニーズに応じた学び、希望する進路等の実現、地域の中で豊かに自分らしく生活していくことを目指した取り組みを推進してまいります。

今後ともご理解・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

事務局：三重県立特別支援学校西日野にじ学園
☎ 059-322-2558 (坂本 学)

独立行政法人高齢・障害・求職者 雇用支援機構三重支部

三重障害者職業センター

- ① 一般企業で働くことを希望する障害のある方に対して、ハローワークや関係機関と連携し、就職への準備を整えるための相談・職業準備支援、就職した職場に適應するためのジョブコーチ支援、休職している方の職場復帰のための支援などの各種支援を行っています。
- ② 事業主の方に対して、障害者雇用の進め方や雇用管理に関する相談・支援を行っています。
- ③ 障害のある方の就労支援を行っている関係機関の方に対して、就労支援に関する助言や研修などを行っています。

【お問合せ】津市島崎町327-1 (ハローワーク津3階)
☎ 059-224-4726 FAX 059-224-4707

高齢・障害者業務課

- ① 事業主の方に対しては、障害者雇用納付金制度に基づく納付金申告申請書・調整金支給申請書等の受付や相談を行っています。
- ② 障害者雇用への理解を広げるため、三重県・三重労働局の共催のもと「三重県障害者技能競技大会 (アビリンピックみえ)」を開催しています。

【お問合せ】津市島崎町327-1 (ハローワーク津2階)
☎ 059-213-9255 FAX 059-213-9270

三重県ボランティア連絡協議会

平素は三重県ボランティア連絡協議会の活動にご理解、ご協力を賜りましてありがとうございます。

計り知れない不安の中での生活、活動は皆様におかれましても、私達におきましても、先行き不透明な部分との戦いであったと言っても過言ではないと思います。そうした厳しい状況のなかにあっても開催される芸術文化祭は「みんな違ってみんないい」の言葉の様に地域共生社会における素晴らしい取り組みだと思えます。

毎年、当会も開催の委員として参加し、ご来場の皆さんの感性、エネルギーを体感させていただいています。

又、皆さんとお会いできます事を楽しみにしています。コロナ感染症も5類となりましたが、感染予防に

十分留意して自己研鑽に努めていきたいと思えます。

2023年度 三重県ボランティア連絡協議会代議員会開催
5月21日 (日) 10:00から開催

視察研修会が「滋賀県 やまなみ工房」に決定しました。

今後とも当会へのご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

会長 川瀬みち代

事務局：三重県ボランティアセンター

☎ 059-229-6634

三重補助犬普及協会

令和5年度の啓発活動の予定

行動の自由は何人にも保障された基本的人権です。身体障害者補助犬は失われた身体機能を補完するために使用されます。補助犬を同伴することで、社会へのアクセシビリティが損なわれてはなりません。補助犬の同伴拒否がなくなるよう、私たちは学校や市民社会での啓発活動を続けています。

○令和5年8月4日 (金) 13:30~

夏休み小中学生盲導犬学習会

三重県視覚障害者支援センターと共催

○令和5年9月 (日程未定)

補助犬使用者のスキルアップ研修会 (津市)

対象：補助犬ユーザーおよび関心のある当事者と福祉関係者

○令和5年11月19日 (日)

街頭啓発活動 (伊勢市内宮前)

○令和5年12月2日 (土)

三重県障がい者芸術祭会場にて補助犬啓発活動

○令和6年1月11日 (木)

視覚障害者補装具日常生活用具展示会にて盲導犬の紹介と体験歩行会 (三重県社会福祉会館)

*私たちの活動を理解し、支援をしていただけるボランティアを募っています。

【お問合せ】協会事務局 ☎ 059-222-8419

E-mail: mie-hojoyoken@pasoya.jp

ご協力をお願い

日頃は温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。当事業所は、社会福祉法人日本身体障害者団体連合会協賛のもと、全国的組織で福祉事業を実施しています。皆様のご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

日本身体障害者団体連合会事業所
(お問い合わせ) 電話 (フリーダイヤル)

0120-263-323

令和5年度障がい者社会参加促進等事業

○三重県障害者社会参加推進センター 委託事業

団体名	事業名
障害者団体連合会	障がい者相談員等研修
	身体障害者補助犬育成等事業
	声の「ふれあい」発行事業
	身体障がい者交流レクリエーション教室
	カローリング教室
	ボウリング教室
	グラウンドゴルフ教室
	ふれあい交流会(体験発表等)
	未婚障がい者出逢い支援事業
視覚障害者協会	視覚障がい者交流レクリエーション教室
	グラウンドゴルフ教室
	ボウリング教室
	障がい別スポーツ大会選手育成強化事業
	フロアバレーボール東海ブロック大会

団体名	事業名
聴覚障害者協会	障がい別スポーツ大会選手育成強化事業
	東海聴覚障害者体育大会
	全国ろうあ者体育大会
日本オストミー協会三重県支部	オストメイト社会適応訓練事業
肢体不自由児(者)父母の会	肢体不自由児(者)体験学習交流会開催事業
脊髄損傷者協会	脊髄損傷者理解促進事業
喉友会	音声機能障がい者発声訓練事業
	音声機能障がい者発声訓練指導者養成事業
知的障害者育成会	知的障がい者交流レクリエーション事業
精神保健福祉会	精神障がい者理解促進啓発事業

団体名	事業名
難病連	難病による障がい者理解促進事業

○三重県障がい者芸術文化活動支援センター委託事業

団体名	事業名
障害者団体連合会	障がい者芸術文化活動普及支援事業



三重県障がい者相談員等研修会開催

目的

障がい者の社会参加と自立促進を目指すなかで、障害者相談員等が一堂に会し、障がい者の人権や最近の諸問題などの情報提供を行い、地域で生活している障がい者を支援するため、相談対応能力の向上と相談員間の連携を図る。

日時

令和5年10月4日(水)
受付12時45分
開会13時15分 閉会16時00分

会場

三重県人権センター 多目的ホール
〒514-0113 津市一身田大古曾693-1

参加者

- ①身体・知的・精神障害者相談員
- ②県、市町、市町社会福祉協議会等の相談業務担当職員等
- ③各市町障害者団体の長、保護者、家族会等の長
- ④障がい者、支援者等

参加人員 150名

参加申込

参加申込書に必要事項を記入のうえ事務局へ直接郵送又はFAX、メール送信

申込期限

令和5年8月31日(木)(期限厳守)

研修内容

- ①講演 「相談員体験発表」
- ②講演 「障害者差別解消法の一部改正についてのお知らせ」
講師 三重県子ども・福祉部 障がい福祉課
社会参加班 障がい者差別解消啓発推進員
東 明宏氏
- ③講演 「ヤングケアラー問題の本質はどこに」
講師 公益財団法人 反差別・人権研究所みえ
研究員 松原 淳氏

事務局

公益社団法人 三重県障害者団体連合会

〒514-0113 津市一身田大古曾670-2 (三重県身体障害者総合福祉センター内)

TEL 059-232-6803

FAX 059-231-7182

E-mail: suishin.c@mie-kensinren.or.jp

令和5年度 社会参加推進協議会団体 開催事業予定

開催日	団体名	場 所	テーマ・内容等
6/12(月)～9/8(金)	三重県身体障害者総合福祉センター	三重県身体障害者総合福祉センター	第18回みえ福祉用具アイデアコンクール2023
7/15(土)～26(水)	三重県障害者団体連合会	パラミタミュージアム	令和4年度三重県障がい者芸術文化祭受賞作品展
8/4(金)	三重県肢体不自由児者父母の会連合会	岡山市	全肢連全国大会
8/5(土)	三重県障害者団体連合会	県営鈴鹿スポーツガーデン	カローリング教室
9/1(金)～10(日)	三重県障害者団体連合会	三重県総合文化センター	三重県アールブリュット&ミュージックブリュット2023
9/14(木)	三重県障害者団体連合会	伊勢市防災センター	障がい者生活安全啓発事業
9/24(日)	三重県障害者団体連合会	三重中央自動車学校	自動車安全運転競技会
9/27(水)～28(木)	三重県障害者団体連合会	サンペルラ志摩	障がい者ふれあい交流会
9/30(土)～10/1(日)	三重県肢体不自由児者父母の会連合会	静岡市	東海北陸ブロック会議・地域指導者セミナー
10/4(水)	三重県障害者団体連合会	三重県人権センター	三重県障がい者相談員等研修会
10/8(日)	三重県障害者団体連合会	菟野町町民センター	青年活性化事業（カラオケの集い）
10/14(土)	三重県障害者団体連合会	三重県身体障害者総合福祉センターグラウンド	グラウンドゴルフ教室
10/14(土)	三重県身体障害者総合福祉センター	三重交通G スポーツの杜 伊勢 陸上競技場	第26回三重県障がい者スポーツ大会「陸上競技」
10/22(日) 2/25(日)	三重県障害者団体連合会	三重県身体障害者総合福祉センター	出会い支援事業（結婚相談）
10/24(火)～29(日)	三重県障害者団体連合会	シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢（伊勢市観光文化会館）	令和4年度三重県障がい者芸術文化祭受賞作品展（伊勢市展）
10/28(土)	三重県障害者団体連合会	津グランドボウル	ボウリング教室
11/5(日)	三重県肢体不自由児者父母の会連合会		障害者の明るいくらし
11/8(水)～9(木)	三重県障害者団体連合会	岐阜県大垣フォーラムホテル	第25回日身連中部ブロック 身体障害者相談員研修会
11/17(金)	三重県身体障害者総合福祉センター	三重県身体障害者総合福祉センター	みえ福祉用具フォーラム2023
11/18(土)	三重県身体障害者総合福祉センター	久居体育館	第26回三重県障がい者スポーツ大会「バレーボール」精神障害の部
11/25(土)	三重県身体障害者総合福祉センター	津グランドボウル	第26回三重県障がい者スポーツ大会「ボウリング」
11/26(日)	三重県障害者団体連合会	東長島公民館（紀北町）	第69回三重県身体障害者福祉大会
12月	三重県肢体不自由児者父母の会連合会		研修会・療育キャンプ（未定）
12/1(金)～2(土)	三重県障害者団体連合会	鳥羽市民体育館	三重県障がい者芸術文化祭
1/14(日)	三重県身体障害者総合福祉センター	三重県身体障害者総合福祉センター	第26回三重県障がい者スポーツ大会「サウンドテーブルテニス」
1/18(水)～21(日)	三重県障害者団体連合会	久居アルスプラザ	みえアールブリュット2024（作品展）
1/27(土)	三重県身体障害者総合福祉センター	三重県身体障害者総合福祉センター	第26回三重県障がい者スポーツ大会「卓球」（一般卓球）
2/17(土) で調整中	三重県身体障害者総合福祉センター	調整中	第26回三重県障がい者スポーツ大会「ボッチャ」
2/23(金)～29(木)	三重県障害者団体連合会	名張市武道交流館いさき	みえアールブリュット2024（作品展）

（お問合わせ） 三重県肢体不自由児者父母の会連合会 TEL・FAX 059-333-0005
 三重県身体障害者総合福祉センター TEL 059-231-0155 FAX 059-231-0356
 三重県障害者団体連合会 TEL 059-232-6803 FAX 059-231-7182

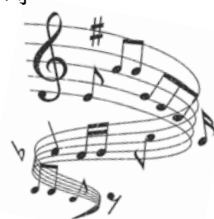
令和4年度三重県障がい者芸術文化祭受賞作品展

日時 令和5年7月15日(土)～7月26日(水) 9時30分～17時30分(入館17時まで)
場所 パラミタミュージアム 1階 小ギャラリー 入場無料/会期中無休
〒510-1245 三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6

※小ギャラリー以外への入館は入館料が必要になります。障害者手帳をお持ちの方は無料になります。

LoVE GifTed ～三重県アールブリュット&ミュージックブリュット2023～

日時 令和5年9月1日(金)～9月10日(日)(9月4日(月)休館日)
入場時間:9時30分～16時30分、最終日:15時 入場無料
会場 三重県総合文化センター(〒514-0061 津市一身田上津部田1234番地)
・公募展「三重の荒ぶるアーティストたち展」 会場:文化会館2階 第2ギャラリー
・LoVE GifTed Artbrut exhibition ～東海・北陸の荒ぶるアーティストたち～
会場:文化会館2階 第1ギャラリー
・アート講演会 会場:文化会館2階 第2ギャラリー 日時:9月9日(土)13時30分～15時
講演:演題「アートの源とゆくえ～地域・ひと・繋がり～」
講師 白川昌生氏(美術家)
・トーク「贈与・福祉・アート、そして総合芸術へ」
会場:文化会館2階 第2ギャラリー 日時:9月9日(土)15時～16時30分
・ミュージックブリュット ライブパフォーマンス
会場:男女共同参画棟 多目的ホール 日時:9月10日(日)13時～16時



みえアールブリュット2024 ～三重のたからもの～

三重県障がい者芸術文化祭受賞作品及び、三重で活動している作家の作品展示
開催日及び場所

- ①令和6年1月18日(木)～1月21日(日)
久居アルスプラザ 第1ギャラリー(〒514-1136 津市久居東鷹跡町246)
- ②令和6年2月23日(金)～2月29日(木)
名張市武道交流館いきいき 多目的ホール(〒518-0753 名張市蔵持町里2928)
*展示時間は10:00～16:00 最終日は13:00終了



有料道路における障害者割引制度が見直されました(令和5年3月27日(月)～)

「身体障がいの方が自ら運転する場合」または「重度の身体障がいの方もしくは重度の知的障がいの方が同乗し、障がい者ご本人以外の方が運転する場合」を対象に通行料金が50%割引されています。

これまで、事前登録された自家用車に限り割引が適用でしたが、知人の車やレンタカー、介護が必要な重度の障がい者がタクシーを利用する場合等、事前登録がない自動車でも新たに割引の適用となりました。ただし、従来通り、事前に障害者割引制度の申請手続きが必要になります。

また、ETC利用登録者を対象にこれまで市町の福祉担当窓口等で行っていた事前登録手続きがオンライン申請で出来るようになりました。オンライン申請には、マイナンバーカードおよびマイナポータルへの登録が必要です。ひきつづき、市町の福祉担当窓口でも申請受付出来ます。

オンライン申請受付 URL <https://www.expressway-discount.jp>

お問合せ先 NEXCO中日本 お客さまセンター(24時間)
TEL 0120-922-229(フリーダイヤル) TEL 052-223-0333(通話料有料)

第25回日身連中部ブロック 身体障害者相談員研修会

日時 令和5年11月8日(水)～9日(木)
会場 大垣フォーラムホテル

第69回三重県身体障害者福祉大会

日時 令和5年11月26日(日)(受付10時から)
式典 11時～12時
郷土芸能 12時～12時30分
会場 東長島公民館 大集会室(紀北町)